

監査報告書(監事意見書)

平成15年5月30日

社会福祉法人 諒 和 会
理事長 下 川 寧 殿

社会福祉法人 諒 和 会

監 事 内 村 保 治

監 事 三 浦 暁 美

1. 我々は、平成14年4月1日から平成15年3月31日までの事業年度における監査を、さくらの苑会議室で行い、事務長及び出納職員より事業の報告及び関係帳票類の提出を求め、一般に認められた監査基準に従って通常必要とされる監査手続を進め、また我々が必要と認めたその他監査手続を実施した。
2. 会計は福祉法人として適性に執行されており、計算書類の内容は福祉法人会計指針に従い、財産及び収支の状況を正しく示していると認める。
3. 今後、介護保険による報酬の改訂等の事情に鑑み、入所者・利用者に対する適正な処遇にかかる人件費高騰の点からも、今後資金的な経営安定の努力を行っていくことを望む。そのため、人事考課による公正な手続きによる職員待遇の改訂等を行っていく必要があること及び、経費支出のよりいっそう効率的な運用を検討する必要があることを指摘しておきたい。
4. 社会福祉法人としての、社会が求める公明正大な運営のため、今後は外部監査及び外部評価等をいち早く導入し、法人及び施設運営のよりいっそうの透明化を計られることを望む。

以 上